

許可申請書 記入例

【宅地造成又は特定盛土等に関する工事】

様式第二

宅地造成又は特定盛土等に関する工事の許可申請書

宅地造成及び特定盛土等規制法 {第12条第1項 第30条第1項} の規定により、許可を申請します。		※手数料欄			
〇〇年 〇〇月 〇〇日 豊橋市長 様		申請者 氏名 〇〇 〇〇			
1	工事主住所氏名 (法人役員住所氏名)	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇 〇〇株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇 (〇〇県〇〇市〇〇町〇〇 代表取締役 〇〇 〇〇)			
2	設計者住所氏名	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇 株式会社△△ △△ △△			
3	工事施行者住所氏名	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇 株式会社◇◇◇◇ 代表取締役 ◇◇◇◇◇◇			
4	土地の所在地及び地番 (代表地点の緯度経度)	〇〇県〇〇市〇〇町1番1、1番2 (緯度: 〇〇度〇〇分〇〇. 〇秒、 経度: 〇〇度〇〇分〇〇. 〇秒)			
5	土地の面積	620.34 平方メートル			
6	工事着手前の土地利用状況	農地 (畑)			
7	工事完了後の土地利用	宅地 (共同住宅)			
8	盛土のタイプ	平地盛土・腹付け盛土・谷埋め盛土			
9	土地の地形	溪流等への該当 有 (無)			
10 工 事 の 概 要	イ 盛土又は切土の高さ	2.15 メートル			
	ロ 盛土又は切土をする土地の面積	588.26 平方メートル			
	ハ 盛土又は切土の土量	盛土	420.95 立方メートル		
		切土	10.21 立方メートル		
	ニ 擁壁	番号	構造	高さ	延長
		1	現場打ちL型擁壁	1.5メートル	6メートル
		2	プレキャストL型擁壁	2.0メートル	10メートル
	ホ 崖面崩壊防止施設	番号	種類	高さ	延長
				メートル	メートル
	ヘ 排水施設	番号	種類	内法寸法	延長
1		L型側溝	30センチ	45メートル	
2		集水枡	30センチ	3箇所	
3		雨水枡	30センチ	3箇所	

原則として、申請者と同じ者

資格を有する者の設計によらなければならない工事を含む場合には、氏名の横に○印を付すこと。

工事の請負人または請負契約によらないで自らその工事を施行する者を記載。(※詳細は手引参照)

申請地内の土地について、地番までそのすべてを記載。記載欄にすべて記載できない場合は、代表地番を記載の上「ほか○筆」とし、別紙にすべて記載すること。
代表地点の緯度経度は、申請地の中心地点を基本とし、秒については小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを記載。

「4」欄の土地の総面積を、小数点第3位を四捨五入して、小数点第2位まで記入。

宅地、農地、採草牧草地、森林又は公共施設用地のうち該当するものを記入。() 内には建築物の有無等の土地の用途の具体的な内容を記入。

該当するものを選択(※詳細は手引参照)

盛土又は切土の最高高さを、小数点第3位を四捨五入して、小数点第2位まで記入。

「5」欄の面積のうち、実際に盛土又は切土をしようとする部分の面積を小数点第3位を四捨五入して、小数点第2位まで記入。この面積によって申請手数料の額が定まる。

盛土又は切土の土量を、小数点第3位を四捨五入して、小数点第2位まで記入。

種別ごとに延長・箇所数を記載。記載欄にすべて記載できない場合は、「別紙のとおり」とし、別紙に記載すること。該当しない場合は記載欄に斜線を引くこと。

ト	崖面の保護の方法	コンクリート造の擁壁で保護		
チ	崖面以外の地表面の保護の方法	のり面保護工（種子吹付）		
リ	工事中の危害防止のための措置	工事区域外周にバリケードを設置		
ヌ	その他の措置			
ル	工事着手予定年月日	〇〇年	〇〇月	〇〇日
ヲ	工事完了予定年月日	〇〇年	〇〇月	〇〇日
ワ	工程の概要	土工→擁壁工→排水工→雑工→整地		
11	その他必要な事項	農地転用許可申請中		
	※受付欄	※決裁欄	※許可に当たって付した条件	※許可番号欄
	年 月 日			年 月 日
	第 号			第 号
	係員氏名			係員氏名
[注意] 1 ※印のある欄は記入しないでください。 2 申請者、1欄の工事主、2欄の設計者又は3欄の工事施行者が法人であるときは、氏名は、当該法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。 3 1欄の工事主が法人であるときは、工事主住所氏名のほか、当該法人の役員住所氏名を記入してください。 4 2欄は、資格を有する者の設計によらなければならない工事を含むときは、氏名の横に○印を付してください。 5 3欄は、未定のときは、後で定まってから工事着手前に届け出てください。 6 4欄は、代表地点の緯度及び経度を世界測地系に従って測量し、小数点以下第一位まで記入してください。 7 8欄は、該当する盛土のタイプに○印を付してください（複数選択可）。 8 9欄は、溪流等（令第7条第2項第2号に規定する土地をいう。）への該当の有無のいずれかに○印を付してください。 9 11欄は、宅地造成又は特定盛土等に関する工事を施行することについて他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の状況の状況を記入してください。				

崖面の保護の方法を記載。

崖面以外の地表面（のり面等）の保護の方法を記載。

工事中の危害防止のための措置を具体的に記載。

該当のない場合は、記載欄に斜線を引くこと。

工程の概要について記載。「別紙のとおり」とし、工程表を添付してもよい。

宅地造成又は特定盛土等に関する工事をすることについて、他の法令による許可、認可等を要する場合には、その許可、認可等の手続きの状況を記入。

行政書士、建築士が手続きを代理している場合に記入。行政書士の場合は、行政書士印を押印すること（建築士の場合は押印不要）。建築士の場合は、資格の種類・事務所登録番号も記入すること。

代理人	住所	豊橋市〇〇町〇〇番地
	資格	
	氏名	行政書士 〇〇 〇〇
	連絡先	
(本人申請の場合は申請者の連絡先を記入してください。)		電話 (〇〇〇〇) 〇〇-〇〇〇〇